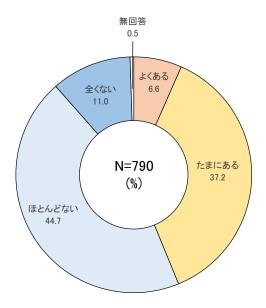
5 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて

問1 あなたは、犯罪被害にあうのではないかと不安を感じることがありますか。 次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「ほとんどない」(44.7%)の割合が最も高く、これに「たまにある」(37.2%)、「全くない」 (11.0%)、「よくある」(6.6%)が続く。

【圏域別】

「全くない」の割合はオホーツク (20.0%) が高く、「ほとんどない」は道北 (58.9%) が高くなっている。

【人口規模別】

「よくある」の割合は人口規模が大きい市町村ほど高くなっている。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

70代以上で、「ほとんどない」(59.7%)や「全くない」(16.1%)の割合が高くなっている。

【職種別】

「よくある」の割合は自由業(19.0%)や学生(12.5%)で高い。

【居住年数別】

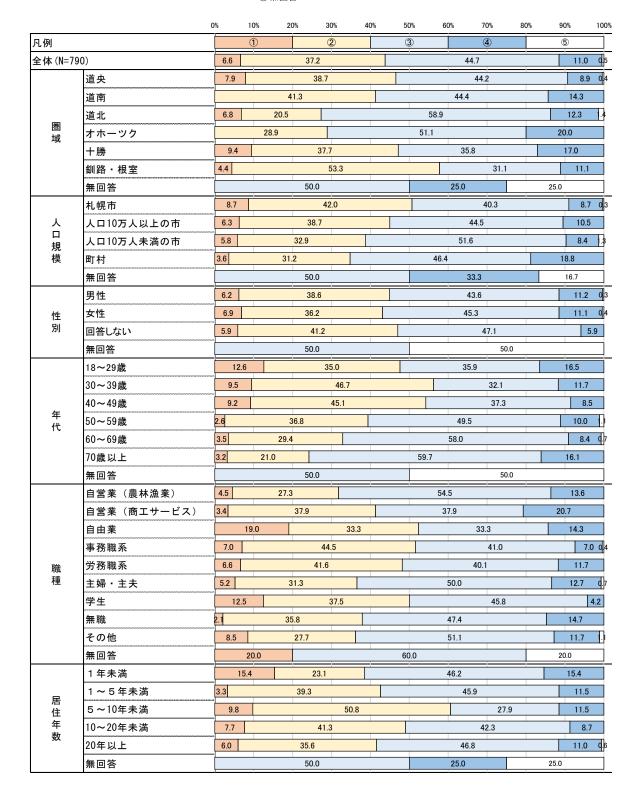
5~10年未満の居住年数で「よくある」(9.8%)、「たまにある」(50.8%)の割合が高くなっている。

①よくある

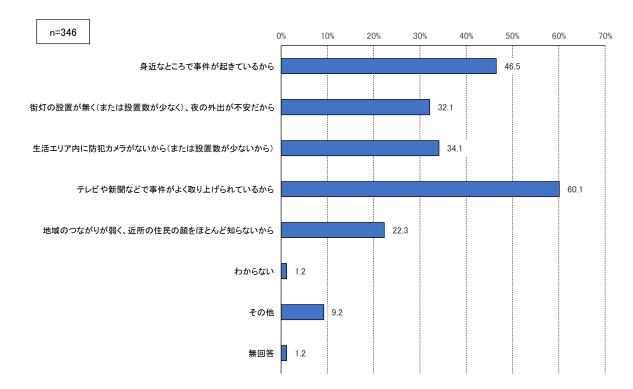
③ほとんどない

②たまにある④全くない

⑤ 無回答



問2 ※前ページ「問1」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。 あなたが不安を感じる要因について、次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」(60.1%)の割合が最も高く、「身近なところで事件が起きているから」(46.5%)、「生活エリア内に防犯カメラがないから(または設置数が少ないから)」(34.1%)が続く。

【圏域別】

「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」の割合は十勝(72.0%)や道南(65.4%)が高くなっている。

【人口規模別】

札幌市では「身近なところで事件が起きているから」(56.6%)の割合も高く、町村や人口10万人以上の市では、「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」が6割以上と高くなっている。

【性別】

「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」の割合は、男性(54.9%)よりも女性 (63.4%)の方が高くなっているほか、「街灯の設置が無く(または設置数が少なく)、夜の外出が不安だから」は男性 (19.4%)よりも女性 (40.7%)が高い。

【年代別】

40代までの年代では、「身近なところで事件が起きているから」の割合が 5割前後と高くなっている。また、 $18\sim29$ 歳では、「街灯の設置が無く(または設置数が少なく)、夜の外出が不安だから」(53.1%)の割合が半数以上と特に高くなっている。

【職種別】

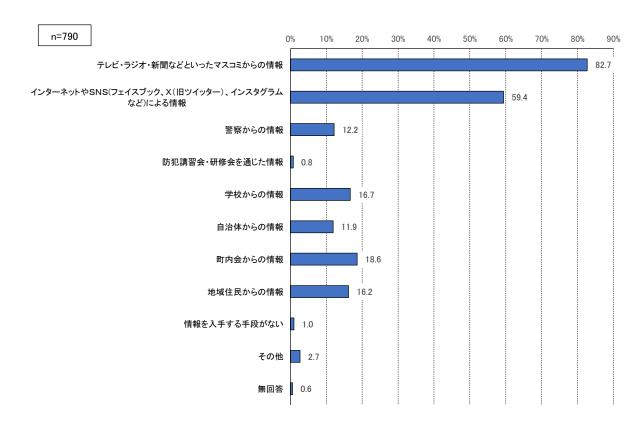
学生や無職、自営業(商工サービス)では「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」の割合が高くなっている。

【居住年数別】

1年未満の居住年数で「地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をほとんど知らないから」(40.0%)が高くなっている。

		きているか	の は 数 置 数 数 が で 数 置 数 置 る 数 置 る 数 る る る る る る る る る る る	置数が少な ラがないか ないか	るから かよく取り り新	ど知らないの住民	わからない	そ の 他	無 回 答	
		らで事件が	安だから が無く()、 ま	いから) ら(または カロ	上げられて	からの顔をほとがりが弱く				
	(%)	 起	夜た	設メ	い件	λ`				
	全体(n=790)	46. 5	32. 1	34. 1	60. 1	22. 3	1. 2			
	道央	49. 2	29. 7	30. 1	60. 2		0.8		<u> </u>	
	道南	46. 2	34. 6	38. 5	65. 4		0.0		0.0	
圏	道北	55. 0		50.0	60. 0		0.0			
域	オホーツク	23. 1	46. 2	23. 1	53. 8	23. 1			0.0	
	十勝	36. 0	32.0	44. 0	72.0		0.0			
	釧路・根室	38.5	34. 6	50.0	46. 2	19. 2	3.8		ļ 	
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人	札幌市	56. 6	27. 6	27. 6	59. 9	28. 3	0. 7		0.7	
	人口10万人以上の市	45. 3	39.5	43.0	64.0	22. 1	1. 2			
規	人口10万人未満の市	28. 3	33. 3	36. 7	51. 7	·····	3. 3	····	ļ	
模	町村	39.6	31.3	35. 4	6 4. 6	6.3	0.0		0.0	
-	無回答	0.0	0.0	0.0	0. 0 54. 9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	45. 8		32. 6			2. 8		ķ	
性 別	女性	48. 5	40.7	34.0	63. 4		0.0		ļ	
נית	回答しない	12. 5	50.0	6 2. 5	75. 0		0.0		0.0	
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18~29歳	49.0	53. 1	30. 6	61. 2	<u>~~~~~</u>	2. 0		0.0	
	30~39歳	55. 8	31. 2	41. 6		28. 6	1. 3	***************************************	0.0	
年	40~49歳	49. 4	30.1	27. 7	56. 6	15. 7	0.0		0.0	
代	50~59歳	37. 3 40. 4	28. 0 27. 7	38. 7 27. 7	58. 7	30. 7 12. 8	2. 7		<u> </u>	
	60~69歳 70歳以上	40. 4	····	40. 0	68. 1 80. 0		0. 0 0. 0		 	
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0. 0	0. 7	<u> </u>	
	自営業(農林漁業)	57. 1	42. 9	28. 6	42. 9	_	0. 0			
	日呂未(辰怀馮未) 自営業(商エサービス)	58. 3	50.0	50. 0	66. 7	41. 7	0. 0		0.0	
	自由業	36.4	54. 5	36. 4	36. 4	18. 2	0.0		0.0	
	事務職系	50. 8	31. 4	33. 1	59. 3		1. 7		0.0	
職	労務職系	51.5	25. 8	33. 3	57. 6	33. 3	1. 7		0.0	
種	主婦・主夫	40.8	40.8	38. 8	57. 1	18. 4	0. 0		·	
	学生	41. 7	50.0	25. 0	91. 7	41. 7	0. 0	0.0		
	無職	33. 3	22. 2	41. 7	75. 0		2. 8			
	その他	44. 1	······································		52. 9		0. 0	***********************	<u> </u>	
	無回答	0. 0		0. 0	100. 0		0. 0	0. 0		
	1年未満	60. 0			50. 0					
居	1~5年未満	53. 8	30.8	26. 9	53. 8		3. 8			
住	5~10年未満	51. 4	37. 8	27. 0	45. 9	21. 6	0. 0			
年	10~20年未満	52. 9	29. 4	45. 1	51.0		0. 0			
数	20年以上	42. 8		34. 2	65. 8	<u> </u>	0. 9		h	
	無回答	0.0		0.0			0. 0		·	

問3 あなたは、地域で起きている犯罪をどのような手段で知りますか。 次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「テレビ・ラジオ・新聞などといったマスコミからの情報」(82.7%)の割合が最も高く、「インターネットやSNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなど)による情報」(59.4%)が続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られない。

【人口規模別】

町村では、「地域住民からの情報」(33.3%)、「自治体からの情報」(23.9%)が高くなっている。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

50代までの年代では、「インターネットやSNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムなど)による情報」の割合が高く、60代以上では、「町内会からの情報」が高い傾向がある。

【職種別】

学生や自由業、自営業 (商工サービス) では「インターネットやSNS(フェイスブック、X (旧ツイッター)、インスタグラムなど)による情報」が $7\sim8$ 割と高く、自営業 (農林漁業) では「地域住民からの情報」 (50.0%) が高い。

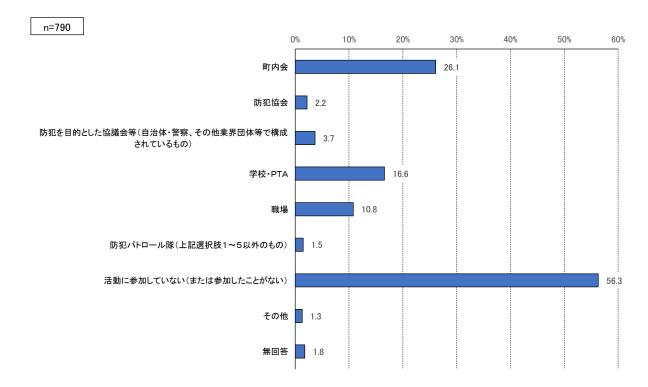
【居住年数別】

居住年数による大きな差異は見られない。

	(%)	の情報どといったマスコミからテレビ・ラジオ・新聞な	情報 スタグラムなど)による(旧ツイッター)、イン(フェイスブック、X インターネットやSNS	警察からの情報	じた情報防犯講習会・研修会を通	学校からの情報	自治体からの情報	町内会からの情報	地域住民からの情報	い情報を入手する手段がな	その他	無回答
	全体(n=790)	82. 7	59. 4	12. 2	0.8	16. 7	11. 9	18. 6	16. 2	1. 0	2. 7	0. 6
	道央	82. 6	60. 9	10. 3	0. 2	17. 4			14. 4	1. 0	2. 6	0. 6
	道南	81. 0		9. 5	0. 0	11. 1			27. 0	§	0. 0	1. 6
圏	道北	79. 5		16. 4	2. 7			30. 1			2. 7	1.4
域	オホーツク	88. 9		20.0	4. 4	20. 0	8.9	11. 1	28. 9	0. 0	0. 0	0.0
	十勝	79. 2	\\\	13. 2	1. 9	22. 6	22. 6	18. 9		0.0	1.9	0.0
	釧路・根室	86. 7		22. 2	0.0	17. 8	4. 4			2. 2		0.0
	無回答	100. 0		0.0	0.0	0.0	25.0	50. 0	0.0	_	0.0	0.0
	札幌市	87. 7		9. 0	0. 0	13. 3				<u>{</u>		0. 3
	人口10万人以上の市	81. 7		12. 6	1. 6	16. 2		15. 7		1.6	3. 7	1.0
規	人口10万人未満の市	80.0		12. 9	0. 6	23. 2	12. 9	17. 4		0.6	3. 2	0.6
模	町村	75. 4		18. 1	1.4	18. 1	23. 9	21. 7	33. 3			0. 7
	無回答	100.0		0.0	0.0	0.0	16.7	16. 7	0.0		0.0	0.0
1.0	男性	83. 2		13.1	1.9	14. 0		19.0			2. 5	0.6
性	女性	82. 9		12.0	0.0	18. 2	10. 2	17. 3		0.7	2. 9	0. 7
別	回答しない	64. 7		0.0	0.0	29. 4	23. 5	41. 2		[0.0	0.0
	無回答	100.0		0.0	0.0	0.0	50.0	50. 0	0.0		0.0	0.0
	18~29歳	82. 5		9. 7	1.0	14. 6	9.7	6.8			······	0.0
	30~39歳	77. 4		8.8	0. 0	25. 5	13. 1			0.0	2. 9	0.0
年	40~49歳	77. 8	 	18.3	0.0	32. 7		19.6		0. 7		0.0
齢	50~59歳	85. 8	58. 4	12.6	1. 1	14.7		14. 7 30. 8		2. 1	2. 1	0.0
	60~69歳	86. 0 88. 7	······································	9.8	0.7	1.4	16.1	30. 8	19.6	0.7		2. 1 3. 2
	70歳以上	100.0		12.9	3. 2 0. 0	3. 2 0. 0	9. 7 50. 0	50. 0	17. 7 0. 0	(·····	
	無回答 自営業 (農林漁業)	63. 6		0. 0 13. 6	4. 5	18. 2	22. 7	13. 6	50.0		0. 0 0. 0	0. 0 4. 5
	自営業(商工サービス)	79. 3		24. 1	0.0	13. 8	13. 8	41. 4		F	0. 0	0.0
	自由業	61.9	81. 0	4.8	0. 0	14. 3		19. 0		<u> </u>		0.0
	事務職系	83. 0	68. 1	13. 1	1. 3	21.8	14. 0	16.6		0.9		0. 0
職	労務職系	78. 8	59. 1	11.7	0.0	13. 1	6.6	14. 6		0.7	······	0. 7
業	主婦・主夫	82. 1		14. 9	0. 0	18. 7	11. 9	25. 4		1.5	2. 2	0. 7
	学生	91. 7	75.0	4. 2	0. 0	45. 8	20.8	8. 3		f	0.0	0.0
	無職	93. 7	<u></u>		2. 1					<u></u>		1. 1
	その他	84. 0		7. 4	0.0				***************************************	ç	·····	1. 1
	無回答	100. 0		0.0	0. 0	0.0	20.0	20.0	0.0		0.0	0. 0
	1年未満	80.8	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3. 8	3. 8	3. 8		3. 8				0.0
屋	1~5年未満	80.3	b	6.6	0. 0	26. 2				{		0. 0
居住	5~10年未満	73. 8		11.5	0. 0	31. 1				}		0.0
年	10~20年未満	88. 5		11.5	1. 0	26. 9						0. 0
数	20年以上	82. 8	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	13. 5	0. 7	12. 7	<u></u>)				·····	0. 9
	無回答	100. 0		0.0	0. 0	0.0		25. 0	0.0		0.0	0.0

問4 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような団体での活動に参加(過去に参加していたでも可)していますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「活動に参加していない (または参加したことがない)」 (56.3%) の割合が最も高く、「町内会」 (26.1%)、「学校・PTA」 (16.6%) が続く。

【圏域別】

「町内会」の割合はオホーツク (37.8%)、道北 (37.0%)、十勝 (35.8%) が高く、「活動に参加していない (または参加したことがない)」の割合は道南 (61.9%) や道央 (60.0%) でやや高くなっている。

【人口規模別】

札幌市では「活動に参加していない(または参加したことがない)」(61.3%)が高く、町村では「町内会」(37.0%)の割合が高くなっている。

【性別】

男性は「町内会」(29.6%)の割合がやや高く、女性は「学校・PTA」(19.3%)の割合が男性よりも高い。

【年代別】

「町内会」の割合は年代が上がるほど大きくなる傾向がある。

【職種別】

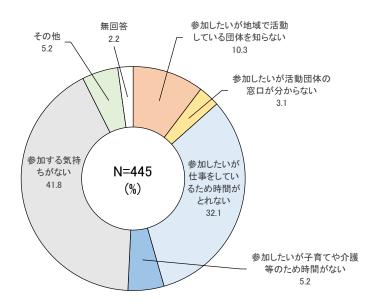
「町内会」の割合は、自営業(農林漁業) (50.0%) が高い。学生は、「活動に参加していない(または参加したことがない)」(70.8%)が高くなっている。

【居住年数別】

1年未満の居住年数では、「町内会」の割合が低く、「活動に参加していない(または参加したことがない)」の割合が高い。

(%)		町内会	防犯協会	ているもの)他業界団体等で構成され等(自治体・警察、その防犯を目的とした協議会	学校・PTA	瑞場	の)選択肢1~5以外のも防犯パトロール隊(上記	ない)(または参加したことが活動に参加していない	その他	無回答
	全体 (n=790)	26. 1	2. 2	3. 7	16.6	10.8	1.5		1.3	1.8
	道央	22. 5	1. 2	2. 6	15. 6	8.9	1. 2	60, 0	1. 2	1. 8
	道南	20. 6	0. 0	1.6	15. 9	15. 9	1. 6	61.9	0. 0	3. 2
1997	道北	37. 0	6.8	4. 1	17. 8	12. 3	2. 7	4 2. 5	4. 1	1. 4
圏域	オホーツク	37. 8	6. 7	13. 3	24. 4	11. 1	4. 4	44. 4	0. 0	2. 2
~~	十勝	35. 8	1. 9	1.9	20. 8	15. 1	0.0	52 . 8	0. 0	0. 0
	釧路・根室	31. 1	4.4	11. 1	15. 6	17. 8	2. 2	48. 9	2. 2	0. 0
	無回答	50.0	0. 0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	25. 0
١.	札幌市	21.3	0. 3	1.3	15. 0	8.3	1. 3		1.0	1. 0
人口	人口10万人以上の市	25. 7	1. 6	3. 7	14. 1				2. 1	2. 1
規	人口10万人未満の市	26. 5	3. 2	•••••	23. 9				1. 3	1. 3
模	町村	37. 0		8. 7	15. 2				0. 7	1. 4
	無回答	16. 7	0. 0	0.0	16. 7		0.0		0. 0	50.0
	男性	29. 6	3. 7	~~~~~						1. 9
性	女性	23. 8	1. 1	2. 4	19. 3	11. 1	0. 7		1. 3	1. 8
別	回答しない	17. 6	0. 0	0.0			0.0			0. 0
	無回答	50.0	0. 0	0.0	0.0		0.0		0. 0	0. 0
	18~29歳	11. 7	2. 9	1. 9			1. 9		0. 0	0. 0
	30~39歳	16. 1	2. 2	1. 5			0. 7		0. 7	1. 5
年	40~49歳	20. 9	1. 3		19. 6				1. 3	0. 0
代	50~59歳	28. 4	2. 1	<u></u>	24. 2		2. 1	50. 5	1. 6	1. 6
	60~69歳	38. 5	1. 4		14. 7			47. 6	0. 7	2. 8
	70歳以上	48. 4	***************************************		11.3		1. 6	·····		8. 1
	無回答	50.0	0. 0	0.0	0.0		0.0		0. 0	0. 0
	自営業(農林漁業)	50.0		13.6	22. 7				0.0	0. 0
	自営業(商工サービス)	37. 9	0.0		27. 6		0.0		0.0	0.0
	自由業	23. 8		19.0	4. 8	<u></u>			4. 8	0.0
	事務職系	23. 6	3. 1	***************************************			1.3		1. 3	0. 9
職	労務職系	24. 8	0. 7	1.5	9.5		0. 7		0.0	1. 5
種	主婦・主夫	32. 1	1. 5	0.0	26. 9		0. 7		0. 7	0. 7
	学生	12. 5	0.0		20.8		0.0	70. 8	0.0	0.0
	無職	32. 6	***************************************							
	その他	12. 8 40. 0	1.1	•						***************************************
	無回答 1 年未満		0.0	0.0	0.0		0.0		0.0	20.0
_	ļ	7. 7 23. 0	0. 0 0. 0	0. 0 1. 6				69. 2 62. 3	3.8	0.0
居	1~5年未満	23. 0			16.4				1. 6 0. 0	1. 6 1. 6
住 年	5~10年未満 10~20年未満	28. 8			19. 2				3.8	
数	20年以上	27. 2	2. 9 1. 9		16. 9			 	0. 7	1.9
	}	25. 0					***************************************			1. 5
	無回答	25. U	0. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	25. 0	0.0	50.0

問5 **※**「問4」で選択肢「7」を選んだ方のみお答えください。 あなたが団体での活動に参加していない(参加したことがない)理由について、次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「参加する気持ちがない」(41.8%)の割合が最も高く、「参加したいが仕事をしているため時間がとれない」(32.1%)、「参加したいが地域で活動している団体を知らない」(10.3%)が続く。

【圏域別】

オホーツクでは、「参加したいが仕事をしているため時間がとれない」(50.0%)の割合が高く、釧路・根室やオホーツクで、「参加する気持ちがない」が高くなっている。

【人口規模別】

札幌市は「参加したいが地域で活動している団体を知らない」(12.5%)の割合がやや高い。人口10万人以上の市は、「参加したいが仕事をしているため時間がとれない」(37.3%)の割合がやや高くなっている。

【性別】

女性では、「参加したいが子育てや介護等のため時間がない」(7.8%)の割合が高い。

【年代別】

50代~60代では、「参加したいが地域で活動している団体を知らない」の割合がやや高く、30代、70代では、「参加したいが子育てや介護等のため時間がない」の割合が高い。

【職種別】

「参加する気持ちがない」の割合は、自営業(農林漁業) (83.3%) で高い。また、自営業 (商工サービス) や自由業、労務職系では、「参加したいが仕事をしているため時間がとれない」の割合が高くなっている。

【居住年数別】

1年未満の居住年数で「参加したいが地域で活動している団体を知らない」(22.2%)の割合が高い。また、「参加したいが仕事をしているため時間がとれない」の割合は、5年以上の居住年数で高くなっている。

- ①参加したいが地域で活動している団体を知らない
- ③参加したいが仕事をしているため時間がとれない

10%

20%

30%

40%

⑤参加する気持ちがない

0%

⑦無回答

②参加したいが活動団体の窓口が分からない

70%

④ 参加したいが子育てや介護等のため時間がない

80%

100%

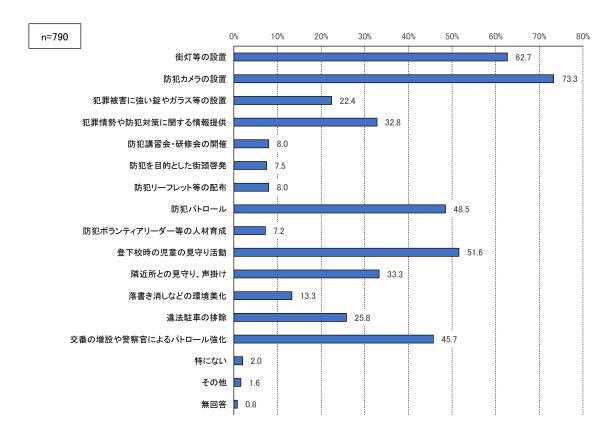
⑥ その他

50%

60%

凡例		1	2 3	4)	5 6	7
全体(N=44	45)	10.3 3.1	32.1	5.2		41.8	5.2 2.2
·	道央	10.9 3.0	28.9	5.9	-	43.4	5.3 2.6
	道南	10.3 7.7	38.	5	2.6	35.9	2.6 2.6
	道北	12.9 3.2	38.7		3.2	29.0	9.7 3.2
圏 域	オホーツク		50.0			45.0	5.0
以	十勝	7.1 3.6	35.7	1	0.7	39.3	3.6
	釧路・根室	9.1	36.4			50.0	4.5
	無回答	**		100	.0		
	札幌市	12.5 2.7	29.9	4.9	·	42.4	3.8 3.8
人	人口10万人以上の市	10.9 2.7	37.3		7.3	36.4	5.5
口 規	人口10万人未満の市	5.6 3.3	33.3	5.6		43.3	7.8 1.
成 模	町村	8.3 5.0	28.3	1.7		48.3	5.0 3.3
	無回答						
	男性	9.8 4.0	31.0	1.7		48.3	4.0
性	女性	10.1 2.7	33.1	7.8		37.7	5.4 3.1
別	回答しない	15.4	30.8			38.5	15.4
	無回答	~		100	.0		
	18~29歳	9.5 2.7	25.7	5.4		47.3	8.1
	30~39歳	8.5 4.3	28.7	10.6		43.6	4.3
	40~49歳	9.2 1.1	40.2		2.3	36.8	8.0 2.3
年 代	50~59歳	12.5 5.2	32.3	2.	.1	43.8	2.1 2
10	60~69歳	11.8 1.5	39.7		2.9	35.3	5.9 2.9
	70歳以上	8.0 4.0	16.0 12.0			48.0	12.0
	無回答						
	自営業 (農林漁業)			83.3			16.7
	自営業(商エサービス)	21.4		50.0			28.6
	自由業	16.7		50.0		25.0	8.3
	事務職系	10.9 1.6	36.7		6.3	40.6	3.9
職	労務職系	7.1 5.9	48.2	2		.2 35.3	1.2:
種	主婦・主夫	15.2	6.1 15.2	16.7		33.3	10.6 3.0
	学生	5.9		70.6			17.6 5.9
	無職	13.8 3.4	13.8			63.8	1.7.7
	その他	3.5 1.8	40.4	3.5		36.8	8.8 5.3
	無回答		50.0			50.0	
	1年未満	22.2	5.6 16.7			44.4	11.1
足	1~5年未満	7.9 7.9	18.4	15.8		39.5	7.9 2.6
居 住	5~10年未満	11.8 2.9	35.3		11.8	35.3	2.9
年 数	10~20年未満	4.1 2.0	36.7			46.9	10.2
釵	20年以上	10.5 2.6	34.8	3.3		42.0	4.3 2.6
	無回答			100	.0		

問 6 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような活動や対策が必要だと思いますか。 次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「防犯カメラの設置」 (73.3%) の割合が最も高く、「街灯等の設置」 (62.7%) 、「登下校時の児童の見守り活動」 (51.6%) 、「防犯パトロール」 (48.5%) 、「交番の増設や警察官によるパトロール強化」 (45.7%) が続く。

【圏域別】

「防犯カメラの設置」の割合は道南(85.7%)で最も高く、オホーツク、釧路・根室(ともに77.8%)、十勝(73.6%)が続く。

【人口規模別】

「防犯カメラの設置」の割合は人口10万人以上の市(77.5%)で最も高く、札幌市(75.0%)、町村(71.0%)、人口10万人未満の市(68.4%)が続く。

【性別】

「防犯カメラの設置」の割合に性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

「防犯カメラの設置」の割合は30~39歳(78.1%) が最も高く、50~59歳(76.8%)、18~29歳(74.8%) が続く。

【職種別】

「防犯カメラの設置」の割合は、学生(87.5%)で最も高く、自由業(81.0%)、その他(78.7%)、労務職系(77.4%)が続く。

【居住年数】

「防犯カメラの設置」の割合は、居住年数 $10\sim20$ 年未満(77.9%)が最も高く、20年以上(73.6%)、 $1\sim5$ 年未満、 $5\sim10$ 年未満(ともに70.5%)が続く。

	(8)	街灯等の設置	防犯カメラの設置	ス等の設置 犯罪被害に強い錠やガラ	する情報提供犯罪情勢や防犯対策に関	催	発	布 アンファット等の配	防犯パトロール	ダー 等の人材育成防犯ボランティ アリー	活動登下校時の児童の見守り	け 隣近所との見守り、声掛	化 落書き消しなどの環境美	違法駐車の排除	るパトロール強化交番の増設や警察官によ	特にない	その他	無回答
	(%) 全体 (n=790)	62. 7	73. 3	22. 4	· 第 32. 8	8.0	7.5	8.0	48. 5	7. 2	51.6	33. 3	13. 3	25. 8	45. 7	2. 0	1. 6	0.8
	道央	62. 1	71. 4	23. 9	33. 5	7. 1	6. 7	6. 9	48. 5	7. 9	51.3	33. 7	14. 2	29. 0	48. 5	2. 0	2. 4	
	道南	66. 7	85. 7	22. 2	33. 3	6. 3	6. 3	11. 1	55. 6	7. 9	52. 4	28. 6	12. 7	30. 2	44. 4	1. 6	0. 0	<u> </u>
	道北	67. 1	72. 6	20. 5	31.5	8. 2	11. 0	9. 6	47. 9	5. 5	52. 1	32. 9	13. 7	17. 8	35. 6	1. 4	1. 4	0.0
圏	オホーツク	55. 6	77.8	15. 6	35. 6	6. 7	4. 4	8. 9	46. 7	4. 4	53 . 3	40. 0	8. 9	24. 4	40.0	0. 0	0. 0	0. 0
域	十勝	66.0	73. 6	18. 9	43.4	11. 3	11. 3	13. 2	43.4	1. 9	60. 4	34. 0	15. 1	17. 0	4 3. 4	5. 7	0. 0	0.0
	釧路・根室	64. 4	77.8	20.0	13. 3	15. 6	11. 1	4. 4	48.9	11. 1	44. 4	28. 9	6. 7	11. 1	44. 4	0. 0	0. 0	0.0
	無回答	0.0	25. 0	25. 0	0.0	25. 0	0.0	25. 0	25. 0	0.0	25. 0	25. 0	0.0	0.0	0. 0	25. 0	0. 0	50.0
	札幌市	61.0	75. 0	25. 7	34. 0	6.7	5. 7	7. 0	48. 0	7.7	47. 7	32. 0	13. 3	32. 0	48.0	2. 3	3. 3	1.0
人	人口10万人以上の市	69. 1	77. 5	21.5	34. 6	11.0	9. 4	13. 6	51.3	8. 9	53. 4	34. 6	14. 7	27. 7	48. 2	1. 0	0.0	0. 5
口 規	人口10万人未満の市	67. 1	68. 4	23. 2	29. 0	5. 8	11.0	4. 5	50.3	7. 1	56 . 8	31. 6	18. 7	22. 6	51.6	1. 3	0. 6	0.0
模	町村	53.6	71. 0	15. 2	33. 3	8.7	5. 1	5. 8	44. 2	4. 3	52 . 9	34. 8	5. 8	13.8	31. 9	3. 6	1.4	0.0
	無回答	33. 3	33. 3	33. 3	0.0	16. 7	0.0	16. 7	33. 3	0.0	33. 3	66. 7	0.0	16. 7	16. 7	0. 0	0.0	33. 3
	男性	<u>57</u> . 0	72. 3	22. 4	32. 1	7.8	6. 9	8.7	4 3. 6	9. 3	4 6. 4	31.5	15. 6	29. 3	4 5. 5	1. 6	1. 9	0. 6
性	女性	67. 3	74. 0	21.6	33. 1	8. 0	8. 0	7. 1	52. 0	5. 6	55. 1	34. 4	12.0	23. 6	4 6. 4	2. 4	1. 3	0. 7
別	回答しない	52 . 9	76. 5	41.2	41.2	5. 9	5. 9	11.8	47. 1	11.8	58. 8	35. 3	5. 9	23. 5	35. 3	0.0	5. 9	0.0
	無回答	0.0	50.0	50.0	0.0	50 . 0	0.0	50 . 0	50.0	0.0	50 . 0	50.0	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	50 . 0
	18~29歳	65.0	74. 8	31. 1	33. 0	14. 6	5.8	6.8	53. 4	5. 8	54. 4	26. 2	16. 5	15. 5	4 4. 7	2. 9	1.0	0.0
	30~39歳	65. 7	78. 1	21. 9	3 8. 0	8. 0	9.5	7. 3	53. 3	10. 2	63 . 5	32. 8	15. 3	23. 4	55 . 5	1. 5	2. 2	0.0
年	40~49歳	60. 8	71. 9	24. 2	24. 8	5. 2	6.5	5. 9	53. 6	10.5	57 . 5	29. 4	17. 6	30. 1	54. 2	1. 3	2. 6	0.0
代	50~59歳	63.7	76.8	19.5	33. 7	8.4	8.4	6.8	49. 5	5. 3	4 5. 8	32. 6	11.6	27. 4	4 5. 8	2. 1	2. 1	0. 5
''	60~69歳	63.6	72. 0	20.3	34. 3	4. 9	5. 6	11. 2	40.6	4. 2	4 2. 7	3 8. 5	7.0	26. 6	3 7. 1	1.4	0.0	0.7
	70歳以上	53. 2	56 . 5		35. 5	8. 1	9.7	11.3	32. 3	8. 1	4 5. 2	4 5. 2		32. 3	25. 8	4. 8	1. 6	4. 8
	無回答	0.0	50.0	50.0	0.0	50 . 0	0.0	50 . 0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	50.0
	自営業(農林漁業)	54 . 5	54 . 5	18. 2	36. 4	4. 5	0.0	4. 5	31.8	9. 1	40.9	4 5. 5	4. 5	13. 6	22. 7	4. 5	0.0	0.0
	自営業(商工サービス)	62. 1	75. 9	31.0	31.0	0.0	3.4	3. 4	58. 6	3. 4	58. 6	51.7	13.8	20. 7	48. 3	0.0	3. 4	0.0
	自由業	66. 7	81.0	28. 6	33. 3	0.0	4. 8	0.0	52. 4	4. 8	3 8. 1	19.0	14. 3	33. 3	33. 3	4. 8	4. 8	0.0
	事務職系	65. 9	73. 4	26. 6	36.7	9.6	9. 2	7. 9	52.0	9.6	58. 5	33. 2	17. 9	29. 3	56. 8	0. 9	3. 1	0.0
職種	労務職系	58. 4	77.4	17.5	32. 1	6. 6	8.0	8.0	45.3	7. 3	48. 9	28. 5	11.7	24. 1	43.1	0. 7	0.0	0. 7
作里	主婦・主夫	70. 9	69. 4	18.7	31. 3	6.0	7.5	9.0	47.0	3.7	55. 2	35. 1	9.7	25. 4	41.0	3. 7	1. 5	0.0
	学生	70.8	87. 5	16.7	25. 0	20.8	4. 2	8.3	62.5	4. 2	54. 2	20.8	25. 0	12.5	41.7	0.0	0.0	0.0
	無職	62. 1	68. 4	27. 4	33. 7	12.6	9.5	8.4	4 3. 2	8.4	42.1	34. 7	13. 7	26. 3	36. 8	1.1	0.0	·
	その他	52. 1	78. 7		28. 7	5. 3 20. 0	5.3	9.6	50.0 20.0	7.4	46.8	35. 1	8.5	27. 7	48.9	5. 3	2. 1	0.0
	無回答	0. 0 69. 2	20. 0 69. 2	20.0	0. 0 30. 8	7.7	0. 0 15. 4	20. 0 3. 8	57. 7	0. 0 7. 7	40. 0 53. 8	20. 0 30. 8	0. 0 26. 9	0. 0 30. 8	0. 0 53 . 8	0. 0 3. 8	0.0	60. 0 0. 0
	1年未満	68. 9		21.3	30. 8 37. 7	9.8	13. 1	8. 2	57. 7 57. 4	8. 2	63. 9	26. 2	26. 9	27. 9	49. 2	1.6	1.6	ļ
居	1~5年未満 5~10年未満	57. 4		21.3	32.8	9.8	6.6	6.6	44. 3	4.9	55.7	29. 5	11.5	24. 6	49. 2 45. 9	3.3	1.6	1. 6 0. 0
住年	10~20年未満	57. 4 57. 7	77. 9	22. 1	33. 7	3.8	3.8	6.7	50.0	9.6	58. 7	35. 6	16.3	19. 2	49. 9 49. 0	3. 8	1. 0	0.0
数	20年以上	63.5	73. 6	22. 1	32. 4	8.2	7.3	8.4	47. 4	6.9	48.5	34. 1	10. 3	27. 0	49. 0 44. 6	1.5	1. 9	0. 0
	無回答	25. 0	25. 0	50.0	0.0	25. 0	0.0		25. 0	0.9	25. 0	50. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<u></u>
	無凹台	<u>■</u> ∠5. U	■ ∠၁. U	5 ♥. 0	0.0	<u>■</u> ∠5. 0	0.0	<u></u> ∠5. 0	■ ∠၁. U	U. U	<u>■</u>]∠5. U	== 5♥. U	0.0	0.0	U. U	0. 0	0.0	<u>υ</u> υ. 0

「犯罪のない安全で安心な地域づくりについて」の調査を終えて

道内の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに減少を続けてきたが、令和4年(2022年)は1万9,604件と、20年ぶりに前年比で増加となる中で、本調査における「犯罪被害にあうのではないかと不安を感じること」については、「ほとんどない」(44.7%)、「全くない」(11.0%)との回答が、前回調査(R3年度)。以下同じ。)と同様に全体の半数を超える結果となった。

一方で、「不安を感じる要因」については、6割の方が「テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから」(60.1%)と回答しており、前回調査と同水準の結果であった。

「地域で起きている犯罪を知る手段」については、8割の方が「テレビ・ラジオ・新聞などといったマスコミからの情報」(82.7%)と回答しており、前回調査と同水準の結果であった。

「地域における防犯活動」については、半数を超える方が「活動に参加していない(または参加したことがない)」(56.3%)と回答し、そのうち4割の方が「参加する気持ちがない」(41.8%)と回答しており、前回調査と同水準の結果であった。

「犯罪防止に必要な対策」については、「街灯等の設置」(62.7%)と「防犯カメラの設置」(73.3%)の回答がそれぞれ前回調査と同様に6割を超えているほか、「登下校時の児童の見守り活動」(51.6%)と回答した方は前回調査よりも5.4ポイント上昇する結果となった。

本年9月末時点における道内の犯罪情勢は、特殊詐欺被害が前年同期比で減少しているものの、刑法犯認知件数は増加し、子どもや女性が被害者となる犯罪なども依然として発生しているほか、新たに犯罪実行者募集情報(闇バイト情報)が全国的に社会問題となっている。

今回の調査結果を踏まえ、被害を未然に防止するため、今後も関係機関等と治安上の課題を共有しながら、道民運動である「安全・安心どさんこ運動」の普及などによる地域の防犯活動の活性化、SNSや防犯アプリ等を通じたタイムリーな情報発信など、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に向けて、道民と一体となって更なる取組を推進していく。

(環境生活部くらし安全局道民生活課) (北海道警察本部生活安全企画課)